

## 管理担当役員メッセージ

# 事業の成長とともに、 ESG課題の解決を目指す

急速なデジタル技術の進化、高齢化や人口減少、気候変動といったさまざまな社会課題が、市場を変えるとともに、お客さまのニーズにも大きな変化をもたらすことが想定されます。また、「素材や製造工程を含めてサステナブルなものを作っている企業の商品を購入したい」という考え方が世界のお客さまの間で浸透しつつあります。

当社は、経営の基本方針に掲げる「愛される商品づくり」を体現するため、長い歴史の中で独自の品質基準を築き上げるなど、お客さまに長く愛用していただける商品づくりに心血を注いできました。今後、さらに持続可能な社会の実現に貢献したいと願うお客さまのニーズに応えるためには、これまでに取り組んできた相互信頼経営と愛される商品の提供をより高度化させる必要があると考えています。なぜなら相互信頼経営とは、まさにESG経営のことであり、この実践こそが社会とワコールの持続可能な発展につながるからです。

例えば、当社のサプライチェーンにおいては、原材料調達から工場の生産、販売に至るまで、まだまだ改善すべきESG課題があると認識しています。2017年10月の「ワコールグループCSR調達ガイドライン」制定以降、社会的責任を果たすための活動を強化していますが、グループすべての製造委託先工場のモニタリングには至っていません。引き続き、委託先と協働しながら、サプライチェーンの透明性を高めていきます。また、2018年に宣伝活動において多様な価値観を否定しかねない広告表現を行ったことから、多くのご批判やご意見をいただきました。こうしたことから広告・コミュニケーション表現におけるコンプライアンス意識の向上にも取り組む必要があります。

このように相互信頼経営を掲げる当社にとって、お客さまとの信頼関係のみならず、社会との信頼関係を高めるESG課題への取り組みは非常に重要です。今後も高いコンプライアンスへの意識を保ちつつ、サプライチェーンすべてのプロセスで品質向上を実現していきます。

加えて、深い相互信頼の構築や持続的な成長を実現するためには、最大の経営資源である従業員一人ひとりの成長が不可欠となります。当社にとって、人材育成も企業の根幹に関わる重要なESG課題の一つであり、引き続き、経





営理念を実践できる人材の育成に取り組むとともに、魅力ある企業風土の実現を目指し、世界のグループ従業員の働きやすさと働きがいをも高める制度や環境の整備に努めていきます。そして、これらを実現するためにも、コーポレート・ガバナンスを継続的に向上させ、着実に機能させることで、透明性を担保した相互信頼経営に取り組む所存です。

当社が100年を超えて、持続的な成長を果たし、存続を期待される企業であり続けるためにも、ESG視点で未来を

描き、グループで一体となって挑み続けることが非常に重要です。2万人を超える従業員とともに、社会・経済両面での独自価値を創造できるよう、ESG経営への取り組みを深化させていきます。

2019年9月

株式会社ワコールホールディングス  
取締役副社長

**山口 雅史**